

～平成 30 年 3 月議会定例会冒頭挨拶～（H30. 3. 5）

早いもので、平成 27 年 5 月に私が町長に就任させていただいてから、2 年 10 か月ほどが経過しました。

その間、「第 4 次総合計画 後期基本計画」を踏まえながら、公約として町民の皆様にお約束をした 5 つの項目、「自らが身を切り、汗かく町政運営と財政の立て直し」をはじめ、「農商工業の振興と生活環境の改善」、「子育てしやすい環境づくり」や「お年寄りや障がいを持つ方が安心して暮らせる地域の絆づくり」、加えて「児童生徒の情操教育と学力向上」に主眼を置き、それぞれの項目を、すぐにできることから時間がかかるものなどを大局的に判断させていただき、できることから一つずつ取り組んできたところでございます。

他にも、去年は町民の皆様の賛否が分かれる中で、町立病院の民営化問題や新興宗教団体の道場建設問題など、大町町の 10 年後、20 年後を見据え、極めて重要な課題を次の世代へ先送りすることなく、将来への負担・リスク回避に向けて大きな決断をさせていただきました。

議員の皆様には、厳しい立場でのご英断をいただき誠にありがとうございます。改めてお礼を申し上げます。

そして、平成 30 年度は、私の公約実現に向けての最後の 1 年となります。

これまで取り組んできたことをさらに深化させ、期待と負託に応えるべく 5 つの項目の実現に向けて、やらなければならない事業の他にも、町民の皆様の要望への対応や時代の流れとともに町の発展・振興に必要な事業に注力したいと考えております。

特に主要事業につきましては、これまでの事業を継続すべきは継続しながら、まず、新興宗教団体の道場建設予定地であった跡地の活用を含め、現在着手しております大型スーパー等の進出・誘致に必要なインフラの整備や「若者が魅力を持てる農業推進」の一環として、きゅうりなどの農産物ハウスの団地形成の促進を図りたいと考えております。また、高齢者や障がいがある方の外出負担を軽くするため、公園等トイレの一部を洋式化し、行事やイベントへの参加を促したいと思っております。そして、切れ目のない「子育て支援パッケージ」の更なる充実のために、妊婦さんが利用する「タクシーの利用料助成事業」を新設し、併せて、子育て世代等の定住移住促進のためのアパート・団地を含めた住宅整備への取り組みを考えていきます。

教育面では、エアコンを設置したことによる子供たちの「教室引き籠り」を解消し、“遊んで学ぶ、育てる”環境づくりと、小学校に入学したばかりの 1 年

生が学校生活に適応できずに問題行動を起こしてしまう「小1プロブレム」解消への取り組みにより、子どもたちが楽しく学べる「学園づくり」を目指したいと思っております。

また、平成28年度の土木調査等を踏まえ、工事費等を大幅に増額することにより、生活環境の改善や交通安全対策などを、積極的に進めていきたいと考えております。

防災・減災面では、公民館や老人福祉センター「ひじり」の耐震診断に伴う対応や、安心・安全な暮らしの一助として「地域の絆づくり支援事業」を創設し、和気あいあいとした地域コミュニティの形成による「共助意識」の醸成に努めるとともに、自主防災組織率の向上を図ります。さらに、防災無線個別無線機の各家庭への導入についても検討していきたいと考えております。

それから、国民健康保険事業の広域化に伴う累積赤字の解消につきましては、一般財源からの補てんに賛否ある極めて厳しい判断ではありますが、健全な国保運営のため、国保加入者以外の皆様をはじめ、町民の皆様にご理解をいただくとともに、円滑な移行に努めたいと考えております。ただ、このようなことを繰り返すことのないように適正な運営が強く求められているものと考えております。

また、ふるさと応援寄附金制度につきましては、職員の頑張りにより、平成27年が12月のひと月で4,000万円弱、平成28年度は1年間で約1億5,000万円、平成29年度が平成30年3月の時点で約9億4,000万円と、予測をはるかに上回るペースで推移しておりますが、最近是一部の自治体で加熱しすぎという感もあり、どうしても金額で評価される職員へのプレッシャーや非公共的な特殊性をもつ制度ということから、今後、職員に専念させることは厳しいと判断しており、他市町の動向も参考に、法人化した専門的な「まちづくり外郭団体」を設立したいと考えております。

このことにより、返礼品や体制の更なる充実強化を図り、商工会との連携を密にしながら、全国の皆様から更に応援していただけるよう知恵を出し合い、応援寄附金の増加につなげていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

平成30年度も引き続き、「大町町に住みたい」と思ってもらえる「安心・安全な魅力あるまちづくり」を目指し、特に「子育て・教育はひとつづくり」を念頭に置きながら、「子育てや教育に希望を持てる元気なまちづくり」、「次世代に誇りを持って受け継いでもらえるまちづくり」に粉骨砕身の思いで、まい進していきたいと思っております。